

<定時制課程>

1 学校教育目標

社会の多様な変化に対応しながら、自らの未来を切り拓くために、 <ul style="list-style-type: none"> ○ 高い志をもち、意欲的に学び、考え、行動する人を育てます（知） ○ 心身を鍛え、逞しく、しなやかに生きる人を育てます（体） ○ 感性を磨き、互いの個性を尊重し、協働する人を育てます（徳）

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

【教育活動に対する評価】

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導 学校評価 アンケート 教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な探究の時間」については全体計画・指導計画を作成し、充実改善を図ることができた。 ・授業評価を活用した授業改善に、各教科担任に取り組んでいただいております、今後も継続してまいります。 ・新入生の少人数指導は、学習の定着をはじめ様々な部分で効果があったが、その反面、指導者側の負担増ともなった。 ・ICT機器の活用については、支援システムのマニュアルを教職員が熟知したことで、滞りなく運用できている。また、研修会等を利用して情報提供を行ったことで、活用を促進することができた。校務用ポータルサイトを今年度から運用したことで、業務の効率化を図ることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生に対する少人数指導の実施は、基礎学力の定着のみならず、学習習慣の確立という点でも大きな効果があったと評価します。一方で、教員負担の増加は懸念される点です。「ていねいな指導」と「働き方改革」の両立に向け、ICTのさらなる活用や人員配置の工夫が求められます。 ・英数などの教職員の負担を軽減できるような他の業務分担など、手を尽くしていただきたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間の充実・改善について教務部と各学年の総探担当者で話し合う場を設ける。 ・Google work spaceの使い方については、職員の入れ替わりがあることと情報漏洩の観点から毎年度研修を行い、使い方を周知する。 ・授業評価を活用し、授業改善を図るとともに、研修等で得られた情報を共有する。 ・成績通知表の発送について、今年度から郵送を取りやめ、生徒への手渡しを行った。 	
生徒指導 学校評価 アンケート 生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に落ち着いた学校生活を送っており、次年度以降も継続させたい。 ・遅刻・欠席者の固定化と恒常化があった。 ・生徒会執行部を中心に行事の企画・運営は滞りなく実施できた。また、役員選挙において、自主的な立候補者が増え、次年度において役員を増員する方向で規約を改正予定である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会役員への立候補者が増加するなど、生徒の自主的な姿勢が育っていることは素晴らしい成果です。 ・遅刻・欠席の固定化については、家庭環境や個々の事情が複雑化している現状がうかがえます。引き続き、生徒一人ひとりの状況に寄り添った粘り強い指導を期待します。 ・声かけ、アンケート調査など効果に表れている。今後も継続してほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・登校時の挨拶（声かけ）は継続し、遅刻防止の指導（声かけ）も合わせて行う。 ・いじめに関しては啓蒙活動を行うとともに、計画的なアンケート調査や面談を通じて早期発見・解決を心掛ける。 ・安易な遅刻や欠席の数を減らすための効果的な指導法について情報収集する。 	
進路指導 学校評価 アンケート 進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員の協力のもと、キャリア教育計画に沿った指導を実行することが出来た。 ・「キャリアパスポート」および「進路のしおり」、その他資料を活用し、振り返りをさせることができた。 ・学校外のような機関と連携することができた。 ・基礎力診断テストの結果を面談等で活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な進路希望を持つ生徒に対し、外部機関とも連携しながら個別に対応されている点を高く評価します。 ・大学進学希望者への対応など、生徒の可能性を広げる指導が実践されています。4年間を見通した「進路マップ」の作成は、生徒の見通しを支える有効な手立てとなるでしょう。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・「キャリアパスポート」「進路のしおり」の見直しと有機的な活用方法について検討する。 ・4年間を見通した「進路マップ」を作成する。 ・外部機関（若者サポートステーション、自立支援センター等）と連携を図る。 	
健康安全 指導 学校評価 アンケート 生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットトラブルの未然防止のために、様々な機会を通じて生徒に注意喚起することができた。大きな事故や事件は起こらなかった。 ・教育的な支援が必要な生徒に対して、サポート委員会を中心として情報の共有や対応することができた。 ・PTとSCと連携し、生徒の指導に当たることができた。 ・避難訓練や防災学習を実施したが、生徒の意識向上に繋がったとは言いがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな事故等がなく、穏やかな学校生活が維持されていることは、日頃の指導の賜物です。 ・ネットトラブルや防災意識の向上については、学校だけでなく家庭や地域と連携し、生徒自身が「自分ごと」として捉えられるような啓発活動の継続が必要です。

改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット未然防止に付いては今年度同様に様々な機会を利用して注意喚起を行う。 ・支援が必要な生徒の情報共有を行うとともに、外部の専門機関とも積極的に連携する。 ・防災・減災に関わる取組は継続して行う。
------	---

【学校運営に対する評価】（定時制課程）

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
信頼される学校づくり アンケート項目なし	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標、スクールミッション、スクールポリシーは変更していない。 ・保護者等への連絡について紙の使用を減らし、HPや一斉メール（生徒へはgoogle classroom）を利用した。悪天候による臨時休校があったが、職員・保護者・生徒へ問題無く周知することが出来た。 ・教育内容の保護者や地域への伝達としては、HPの利用の他に今年度からnoteを導入した。noteは若者がSNSで活用するツールの1つであり、次年度は活発化させたい。 ・令和7年度入学者選抜より自己推薦による入試を導入した。令和7年度に比べ令和8年度は激減した。 ・学習評価や授業評価をはじめとして、様々な評価や調査を行っているが、十分に活用できているとは言えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「note」の活用など、若者の視点に立った新しい情報発信への挑戦は、地域や中学生とのつながりを広げる良い取り組みです。 ・自己推薦入試の志願者減については分析が必要ですが、定時制ならではの「学び直しの場」としての魅力を、Web等を通じて広く伝えていくことが重要だと考えます。 ・一斉メールは、悪天候時など非常にありがたい。 ・ネットアプリやメールの利用は確実な情報共有に有益なため大変評価できる。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・安心メール（一斉メール用アプリ）への未登録者を減らすため、入学式後だけでなく、節目（行事・保護者への通知等）を利用してHR担任から説明する。 ・HPをこまめに更新する。noteを活用する。 ・授業評価や基礎力診断テストの結果を学習指導に活かせるよう工夫させる。 	
組織の活性化 アンケート項目なし	<ul style="list-style-type: none"> ・教育計画に評価の観点を盛り込み、それを基準に学校評価を行っている。その内容を次年度以降の学校改善に結びつけさせたい。 ・今年度は1名の過員があり、3分掌に3名ずつ配置することができたが、全仕事量を考えるともう1名欲しいと感じた。 ・超過勤務はある範囲内に収められているが、時期により湖定祭や入選関係等で業務が多くなることもある。部活動指導時間は適正に守られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた人員の中で、生徒のために最大限の教育活動を展開されていることに敬意を表します。 ・部活動の活性化に伴う業務増や旅費の課題もありますが、組織全体で情報を共有し、特定の教員に負担が偏らないような配慮と工夫をお願いします。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価の内容をしっかりと次年度以降の目標設定や行事の企画運営に反映させる。 ・分掌業務の見直しと、ICTを活用した負担軽減に取り組む。 	
教職員の資質向上 アンケート項目なし	<ul style="list-style-type: none"> ・教科や分掌の研究協議会等へ出席する教員が多かった。定時制教員だけの平均は1月末で1人5回である。次年度以降も継続していきたい。 ・節目ごとに管理職との面談を行うことによりある程度目標管理ができた。 ・機会ある度に勤務に関する情報を提供し、教職員の規律を守る意識が保たれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多忙な中でも、多くの教員が積極的に研修に参加し、資質向上に努めている姿勢は高く評価できます。 ・定時制教育には多様な生徒への対応など高度な専門性が求められます。研修で得た知見を校内で共有し、組織全体の指導力向上につなげてください。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・校外で行われる研修会への参加を促すとともに、実践的な校内研修会を企画する。 ・教育者としての意識の高揚を図る。 	
公表方法	学校ホームページ	

3 添付資料

- (1) 令和7年度北海道釧路湖陵高等学校 定時制課程 学校評価（自己評価）集計
- (2) 学校関係者評価（全定で一様）